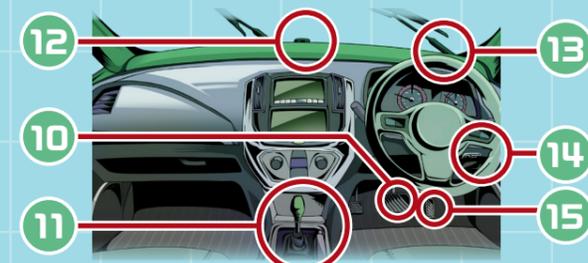
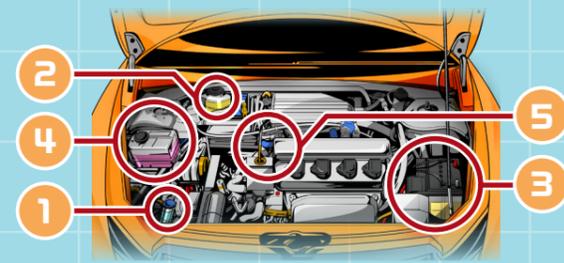


クルマの日常点検チェックシート

!!
かわって、わかる/
クルマと点検



こまめに
日常点検を
行おう!

長期間
乗っている車は
注意が必要!

燃費改善!
CO₂排出量
削減へ!

定期点検も
忘れずに
受けよう!

1 ウインド・ウォッシャ量

ウインド・ウォッシャ液の量が減りすぎていないかを点検します。

チェックしよう!

2 ブレーキ液の量

ブレーキ液のリザーバ・タンクを見て、ブレーキ液量が上限ラインと下限ラインの間にあるかどうかを点検しましょう!

チェックしよう!

3 バッテリー液の量

バッテリー液の量が上限ラインと下限ラインの間にあるかどうかを車両を揺らしたりして点検しましょう!

チェックしよう!

4 冷却水の量

ブレーキ液のリザーバ・タンクを見て、冷却水の量が上限ラインと下限ラインの間にあるかどうかを点検しましょう!

チェックしよう!

5 エンジンオイルの量

エンジンに付いているオイル・レベルゲージを抜き取り、付着しているオイルを拭き取ってからゲージをいっばいに差し込み、再度抜き取った際にオイルの量がオイル・レベルゲージにより示された範囲内にあるかを点検します。

チェックしよう!

6 タイヤの空気圧

タイヤの接地部のたわみ具合を確認して、タイヤの空気圧が既定の範囲内であるかを点検します。なおタイヤゲージがあれば、より正確に点検できます。

チェックしよう!

7 タイヤの亀裂・破損の有無

タイヤの亀裂や損傷の有無、タイヤに異物が付着したり、かみ込んだりしていないかを入念に点検します。

チェックしよう!

8 タイヤの溝の深さ

タイヤの溝の深さが十分であることを、接地面のスリップ・サインを目印に点検します。スリップ・サインは、タイヤ側面の三角マークのある位置の接地面に現れます。

チェックしよう!

9 ランプ類の点灯・点滅

エンジン・スイッチを入れ、ランプ類の点灯・点滅具合が不良でないか、レンズなどに汚れや損傷がないかを点検します。

チェックしよう!

10 ブレーキの踏み残りしろと効き具合

ブレーキ・ペダルをいっばいに踏み込んだとき、床板とのすき間(踏み残りしろ)や踏みこたえが適当であるかを点検します。

チェックしよう!

11 駐車ブレーキの引きしろ(踏みしろ)

駐車ブレーキをいっばいに引いた(踏んだ)とき、引きしろ(踏みしろ)が多すぎたり、少なすぎたりしないかを点検します。

チェックしよう!

12 ウインド・ウォッシャ液の噴射状態

ウインド・ウォッシャ液を噴射させ、ワイパーの作動範囲に噴射されるかを点検します。

チェックしよう!

13 ワイパーのふき取り能力

ウォッシャー液を噴射し、ワイパーを動作させ、低速および高速の各作動が不良でないか、きれいに拭き取れるかを点検します。

チェックしよう!

14 エンジンのかかり具合・異音

エンジンが速やかに始動しスムーズに回転するか、またエンジン始動時やアイドリング状態で、異音がないかを点検します。

チェックしよう!

15 エンジンの低速・加速状態

エンジンを暖機させた状態でアイドリング時の回転がスムーズに続くか、また、アクセル・ペダルを徐々に踏み込んだ時、アクセル・ペダルに引っ掛かりがないか、エンジンがスムーズに回転するかを走行するなどして点検します。

チェックしよう!

車検はあくまで最低限の基準を満たしているか確認するもので、次の車検までの安全性等を保証するものではありません。確実に日常点検や定期点検を実施し、車の保守管理を行いましょう。

日常点検

日常点検は、日頃、自動車を使用していく中で、ユーザー自身が行う点検です。普段から、このチェックシートを見ながら点検を行いましょう。

定期点検

定期点検整備は、一定期間(自家用乗用車は1年)ごとに実施する点検整備です。日常点検と同様にユーザーの実施義務となっていますが、専門的な知識・技術が必要なので、国の認証を受けた整備工場にお願いしましょう。

専用HPはコチラ!

